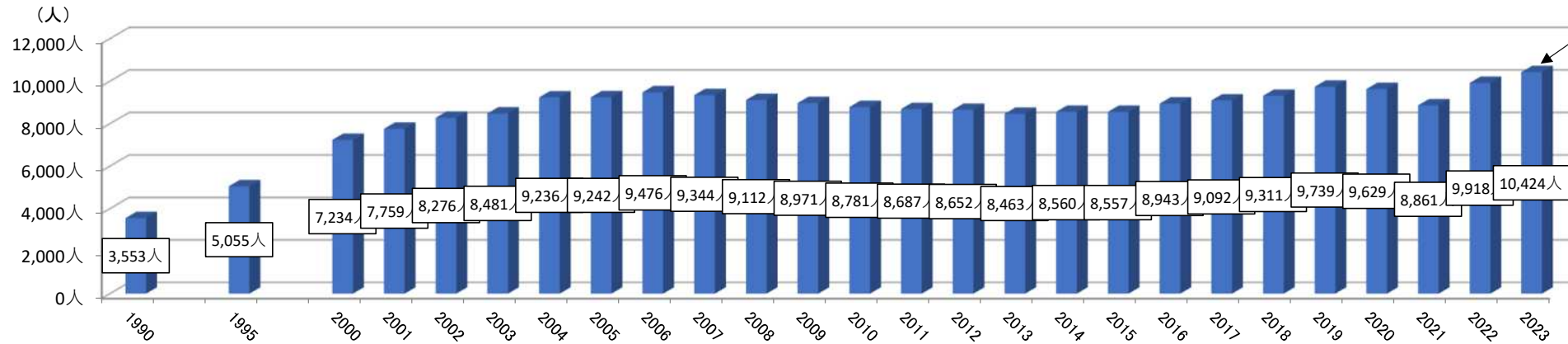


1 外国人市民数の推移

(各年12月31日現在、2023年は7月末現在)

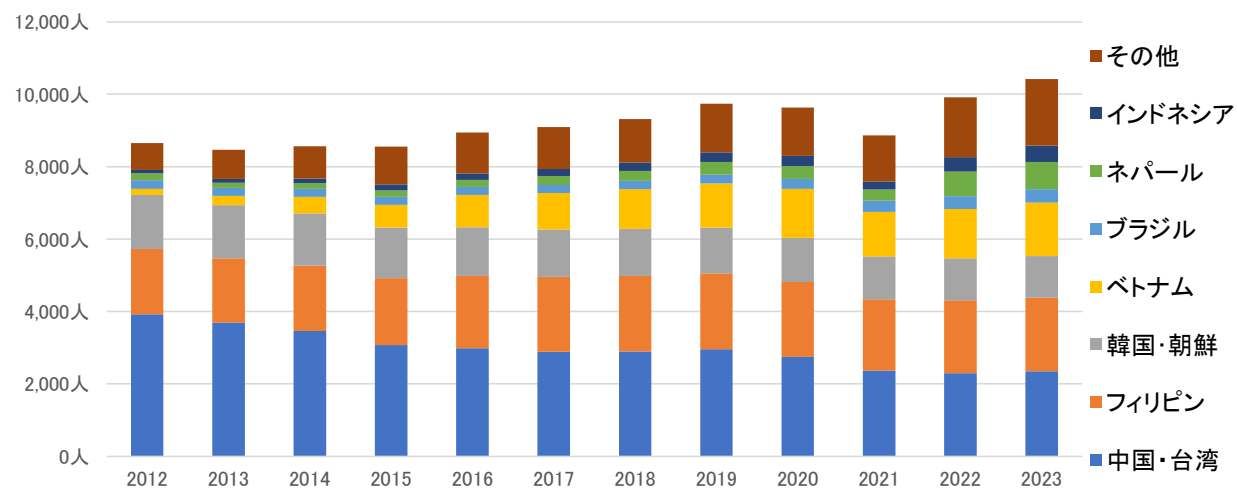
外国人住民比率 2.60%



・近年、増加傾向で推移していたところ、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少に転じていたが、「水際対策」が緩和された2022年に急激に増加し、過去最多に。  
 ・2023年も増加が続き、10,000人を突破  
 ・いわゆる「コロナ禍」以前に引き続き、今後も外国人住民の更なる増加が見込まれる状況。

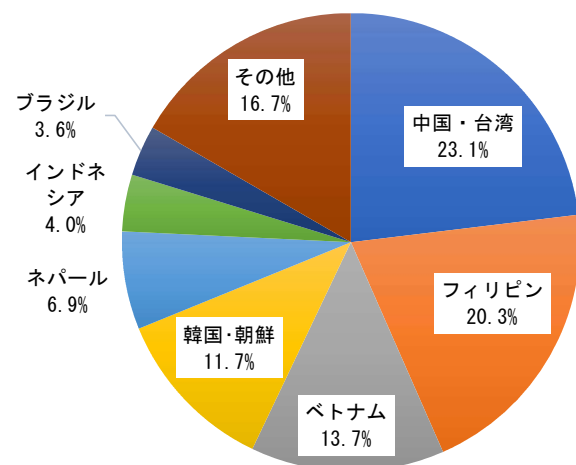
2 国籍・地域別

(各年12月31日現在、2023年は7月末現在)



(人)

【2023年7月末現在の比率】

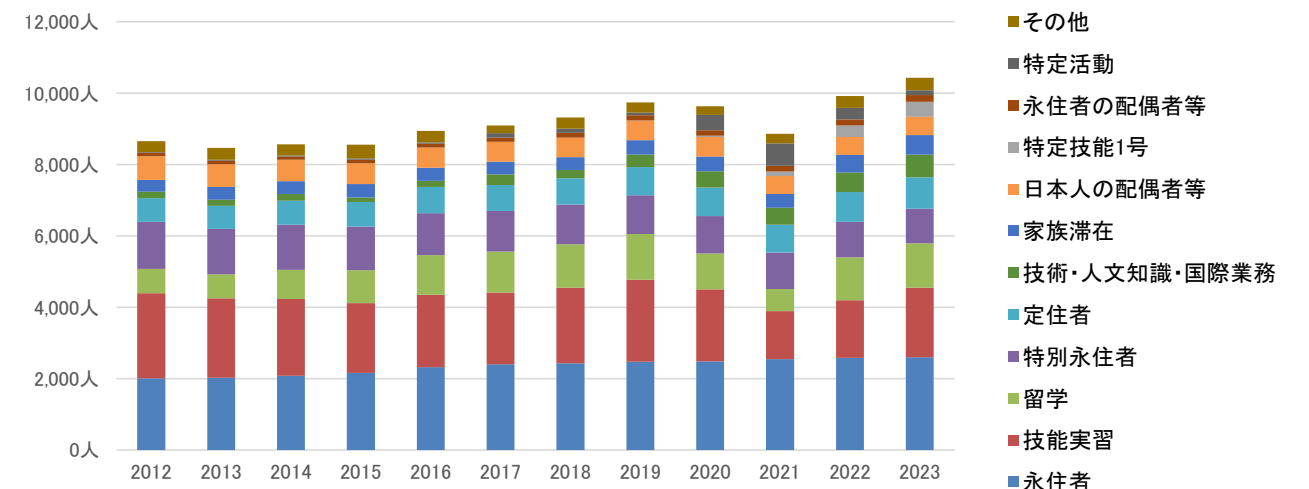


国・地域	住民数
中国・台湾	2,347
フィリピン	2,034
ベトナム	1,481
韓国・朝鮮	1,147
ネパール	754
インドネシア	447
ブラジル	370
その他	1,844
合計	10,424

・中国・台湾は2000年代中頃から減少傾向にある。  
 ・ベトナムは近年増加傾向にあり、韓国・朝鮮を抜いて第3位に  
 ・ネパールも増加傾向にあり、第5位に

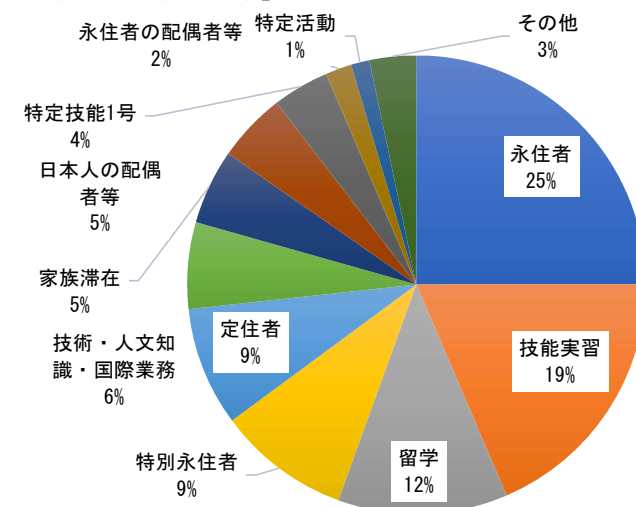
3 在留資格別

(各年12月31日現在、2023年は7月末現在)



(人)

【2023年7月末現在の比率】



在留資格	住民数
永住者	2,601
技能実習	1,942
留学	1,247
特別永住者	974
定住者	877
技術・人文知識・国際業務	635
家族滞在	550
日本人の配偶者等	509
特定技能1号	417
永住者の配偶者等	192
特定活動	136
その他	344
合計	10,424

・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年から「技能実習」、「留学」が減少  
 ・また、「特定活動」はコロナ禍において、留学期間終了後、帰国が困難な外国人に対応するため、申請により、「特定活動」が付与されていたため、一時的に増加  
 ・「永住者」、「定住者」などは増加傾向にある。